

佐渡米通信

こめ〜る

2021年 01 月号

発行日:2021年1月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 藤巻・渡辺
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

皆様には平素より格別のご愛顧をいただき、
誠に厚く御礼申し上げます。
明年も変わらぬご支援を賜りますよう、
JA役職員一同、
心よりお願い申し上げます。



写真提供者:庄司祐三郎

水稲作柄検討会

11月8日から30日の間、2年産の水稲作柄検討会が島内26会場で開催されました。
検討会では地区ごとに2年産の作柄や生育の推移を分析してその対応を話し合ったほか、適期作業など基本の技術の徹底で3年産の品質向上を目指す旨が確認されました。



2021年田んぼアートデザイン決定!

2021年の田んぼアートデザインが決定しました。今年ではデザインの公募が行われた結果、新潟や埼玉・東京など各地のイラストレーターや学生、農業従事者等から55件の応募がありました。



最優秀作品は「佐渡にいきる」に決定しました。
デザインは田んぼアートに使われます。

大阪で佐渡とコラボキャンペーン

11月16日から12月4日の間、大阪にある社員食堂CUIMOTTEと佐渡米のタイアップキャンペーンが開催されました。
提供した「朱鷺と暮らす郷」米はキャンペーン期間中に食堂で使用されたほか、佐渡産島黒豚を使ったハンバーグ&ソーセージ定食が1日限定10食で販売されました。



現在のトキの様子は…?

今年は「純野生」のトキ24羽を含む67羽が巣立ち、それにより野生下のトキは458羽となりました。
稲刈りが終わった田んぼでは、トキがえさを探す姿がよく見られます。これから雪が降るとえさ探しは困難になるため、冬みずたんぼなどで冬の餌場を確保しています。



写真提供者:庄司祐三郎

